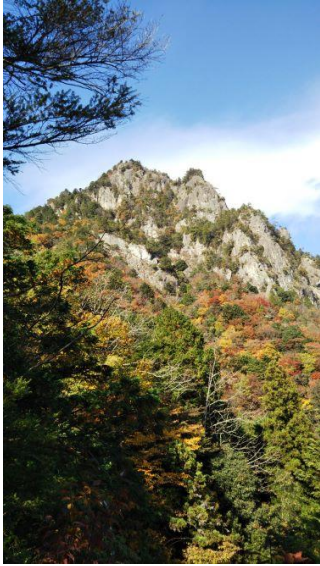


11月15日 雪彦山

木元 隆司

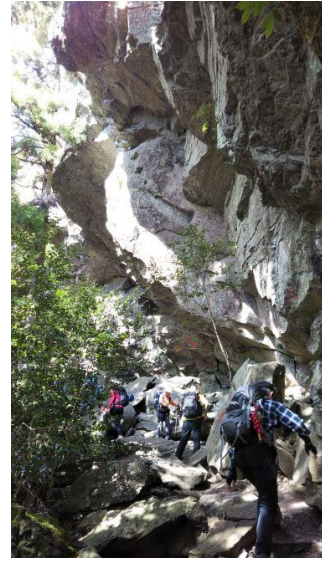
山名	雪彦山	山行名	例会						
ルート	登山口→出雲岩→大天井岳→虹ヶ滝→登山口								
山行日	2020年 11月 15日(日)	天候	晴れ						
参加者	リーダー：土岐 サブリーダー：木元 (男性) 西川 黒崎 中田 山下 田中 5名 (女性) 上杉 藤本 秋山 倉光 4名 合計 11名参加								
ルート概略図 		コースタイム							
		地名		時：分		地名		時：分	
		登山口	発	10:30	大天井岳	着	12:20		
					昼食	発	13:05		
		出雲岩		11:35	地蔵岳	着	14:00		
				発	14:25				
馬の背		12:10	登山口	着	16:00				
山行報告 下見をしたにもかかわらず、迂闊にも、また登山口に行く道を間違えてしまいました。カーナビに入力すると安心しきって注意しなくなってしまいます。ちなみに今後の参考までに、カーナビの行先に「雪彦山登山口」と入れると通行止めの道に入ってしまう。「雪彦山バンガロー」もしくは「雪彦山駐車場」で入れてください。そういう訳で、雪彦山駐車場に着いたときは、車がいっぱい。晴天で人が多いだろうなどは思っていたが、予想をはるかに超えた車でした。なんとか駐車場所を見つけて、予定の1時間遅れで出発。数日前の寒さがうそのようないいい天気で、むしろ暑いくらいでした。歩き始めていきなりの急登で息が荒くなる。晴天に恵まれ、紅葉を愛でながら1時間歩くと、巨大な出雲岩に到着。なんと驚くことにオーバーハングの岩壁にかなり古そうではあるがハーケンが打ってあり短いロープが下がっている。もちろん我々はこれを登るわけではなく、脇を巻いて行く。その後もずっと続く急坂を登り、昼過ぎに大天井岳に到着。狭い山頂に人がいっぱい。下見のときも出会ったバッチ販売のおじさんがいて、常連さんらしき人達と話をされていました。ここで昼食をとった後、今回の山行のメインイベントである地蔵岳へ。時間がちょっと遅かったこともあり、我々で独占状態。人が多ければ渋滞するところであり、ラッキーでした。緊張感をもってほぼ垂直の岩壁を全員無事登り下りしました。一応用意していたロープは使用せず、岩の突起、割れ目を手がかり、足がかりに三点確保で登り下りしました。距離は短いけれども危険な場所であり、怖さもあります。でも、おもしろい!! その後も虹が滝まではロープ場、鎖場の急な岩場が続く。斜面が見えず懸垂下降に近い鎖場もあり、重い鎖を頼りに下る。少し暗くなり始めた頃、登山口に到着。811mと低い山ですが、岩場、鎖場、ロープ場の登り下りがあり、大変おもしろいコースです。少しは日本アルプスの訓練にもなったかな？ 車を運転していただいた方、参加の皆様、ありがとうございました。楽しい山行でした。									
ヒヤリハット：手の指の怪我（骨にひび）1名。 ただし、どこでどういう状況で負傷したかは不明。									



雪彦山（大天井岳）



紅葉



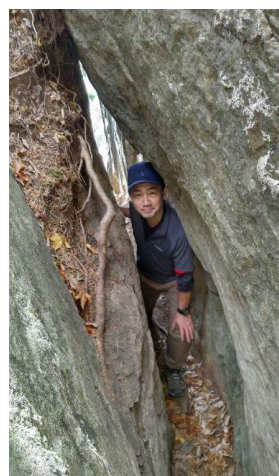
出雲岩



岩場の登り



馬の背



セリ岩



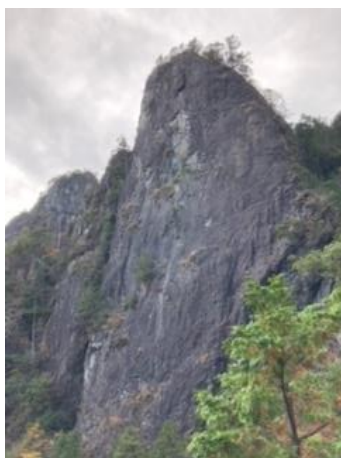
大天井岳山頂



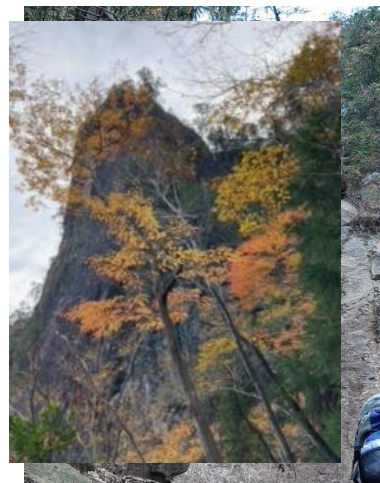
地藏岳の登り



地藏岳山頂



地藏岳



鎖場の下り

雪彦山感想

中田繁男

以前に例会で参加したはずですが、殆ど記憶になく久々の岩山に参加した。英彦山、弥彦山と並び日本3彦山として古くからの修験者の道場と知られてか、到着が約1時間遅れした為キャンプ場前の道路脇まで溢れる車の列に驚き、何とか駐車スペースを確保してのスタートになりました。イキナリの急登から始まり息が上がり、途中の大木の幹に赤いペンキで「ガンバレ」の文字に励まされて行者堂手前の岩から大天井岳が聳えているのが見えた。そそり立つ岸壁に少し怖気着く気の弱さを感じた。オーバーハングの出雲岩に見とれてしまった。天井部分にクライマーが打ち込んだボルトが沢山確認。結構古そうなので最近は使われていないのかな？・覗岩から快晴の今日錦秋の山肌は赤くツツジの紅葉が綺麗！！

セリ岩の細い隙間を皆さんが何回のすり抜けを楽しんでいます。ザックを擦りながら・・・馬の背の難所は反対側から下山者が待ち受けているので慎重に緊張して通過した。女性陣もワイワイ言いながら楽しんでいます。大天井岳のピークには別パーティの人々が昼食中、我々も昼食タイムして、東側には地蔵岳に登る登山者が見えた。登山道には「一般コース、上級コース」の看板ある。上級コースには赤く登山者キケンと表示。二手に分かれ最後尾の私達は上級コースのクサリを下山した。クロさんのアドバイスを頼りに何とか通過した。地蔵岳はピストンなのでザックは登り口に置いて身軽に登れた。意外と登り易く見た目より危険度は高くないと感じた。ここからは下り道が岩場、徒渉、急坂が繰り返す続き気を遣う足場が多い。そんな中元自衛隊出身のクロさんは持ち前の身体能力が高く、我々とはレベルが違い、飛ぶように岩から岩越えをしていますね！！スゴイ！虹ヶ滝に着いた頃から辺りが少しずつ暗く秋の山の夕暮れを感じさせてくれます。はるか頭上には大きな岩峰群が立ちだかっている中、大曲で大きく曲がり沢沿いの遊歩道を登山口に着いたころは、大混雑していたマイカーは殆どいなくなっていた。コロナ禍で体力不足の私には中々ハードなコースでしたが、皆さん誰も怪我無く楽しんで山行が出来て良かった。

黒崎 高生

秋晴れの中、まだ紅葉も残った初めての雪彦山に楽しく参加させていただきました。何も知らずに参加しましたが鎖とロープと急登の名所だったんですね。また行きたい山のひとつとして、今回は行けなかった雪彦山山頂と違うルートに挑戦したいと思います。CL、SL、車を出していただいたNさんYさん、ありがとうございました。大天井岳で昼食時にバッチを売っていた、おじいさんがいました.....有名らしいです(後で知りました)

藤本 光代

参加者の皆様お世話になりました。ほどよく疲れてよかったです。西川様運転もずっとしてもらいありがとうございました。

山下 剛史

秋晴れの絶好の登山日和でした。鮮やかな紅葉の景色を見ながら、岩場、鎖場など変化に富んだコースを楽しむことが出来ました。コロナ禍の中、CL SLのお二人にはいろいろと準備をしていただき、ありがとうございました。